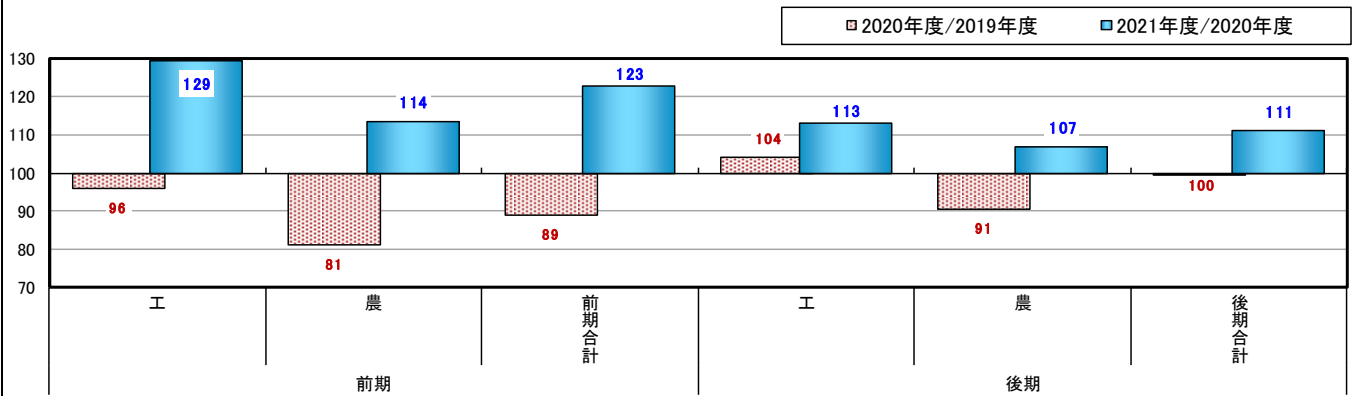


2021 年度入試状況分析【国公立大】

東京農工大：大学全体では3年ぶりの増加、前期は大幅増加 前期：+276人 後期：+196人



入試変更点 募集人員：工(知能情報システム工)…<前>65人→64人、<後>43人→42人
 工(生体医用システム工)…<前>30人→28人、<後>20人→18人
 工(応用化学) …<前>44人→42人、<後>29人→36人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は2年連続減少の反動で276人(123)の大幅増加、募集人員(前年度募集人員対比指数99)は微減で志願倍率は2.5倍→3.1倍にアップし、6年ぶりに3倍を上回った。後期も2年連続減少の反動で196人(111)の増加で、募集人員(前年度募集人員対比指数102)は微増だが志願倍率は7.2倍→7.9倍にアップ。

<前期日程>

- 工(129)は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、6学科全てが増加で、5学科が大幅増加。特に(化学物理工)(169)の激増が目立った。(応用化学)(134)は大幅増加で、募集人員(前年度募集人員対比指数95)もやや減少したため、志願倍率も2.6倍→3.6倍にアップ。(知能情報システム工)(127)は唯一2年連続大幅増加、(機械システム工)(107)はやや増加に留まった。
- 農(114)は、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、5学科中4学科が増加し、(環境資源科学)(126)、(地域生態システム)(117)、(応用生物科学)(116)は大幅増加、(共同獣医)(114)は増加。前年度唯一増加した(生物生産)(95)は、やや減少。

<後期日程>

- 工(113)は、2年連続増加。学科別では、6学科中5学科が増加。(生命工)(127)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(機械システム工)(126)、(生体医用システム工)(120)、(応用化学)(106)は2年連続増加、(化学物理工)(106)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加、(知能情報システム工)(98)は前年度大幅増加の反動は小さく前年度並。
- 農(107)は、2年連続減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、(地域生態システム)(169)は前年度大幅減少の反動が大きく大幅増加、一方(共同獣医)(68)は2年連続の大幅減少、(環境資源)(86)は3年連続減少。